

## 医療情報学 第7・8回

### ●試験問題候補

「医療従事者として、セキュリティ対策において実践すべき事項」

#### ★医療従事者として実践すべき事項1

##### ◎なりすましの防止

- ・ ID、パスワードの管理の徹底。
  - …同じ病院内のスタッフ同士でも、絶対にパスワードは教えない。
  - …パスワードは推測されにくいものを使用し、定期的に更新する。
  - …パスワードは紙などに控えておかない。
  - …人がみているところでパスワードを入力しない。
  - …自分の ID、パスワードでログインした端末を人に操作させない。

#### ★事項2

##### ◎のぞき見の防止

- ・ 案外忘れがちなのがのぞき見である。病院内はいうまでもなくオープンなスペースであるので、自分が使用している端末の画面上に表示されているデータをいつ第三者が後ろから見ているか分からない。データアクセス時には周囲に気を配り第三者の立ち入りをチェックする必要がある。

#### ★事項3

##### ◎端末を離れるときのログオフ

- ・ 短時間といえども端末を離れるときには初期画面まで戻りログオフする。

#### ★事項4

##### ◎データを持ち出さない

- ・ 自宅で残業をする場合や、学校や研究会などで発表する場合、データを USB メモリなどの外部記憶メディアで自宅などに持ち帰ることがあるが、データ流出につながるため院外には持ち出してはならない。どうしても必要な場合は、許可を受け最低限必要なデータだけに絞り込み、できるだけ個人が特定できない匿名化された情報や統計データなどに限定すべきである。

#### ★事項5

##### ◎ウィルス対策を確実に行う

- ・ 端末には必ずウィルス対策ソフトを導入し、パターンファイルを常に最新の状態に更新する。

- ・ 知らない発信元からのメールは開かない。
- ・ 怪しい www サイトは見ない。
- ・ 人からもらったファイルは不用意に開かない。

(試験には出ないと思われませんが、授業で触れていた情報セキュリティ 10 大脅威 2013 年  
度版→ <http://www.ipa.go.jp/security/vuln/documents/10threats2013.pdf> )